

プレスリリース

Cazzaniga Historical Jewellery Collection 展

Cazzaniga by Cazzaniga ジュエリー

初期作品展

会場

ドメニコ・ジョルジ駐日イタリア共和国大使公邸

開催日

2013年12月8日(日)

後援

日伊財団

ウンベルト・ヴァッターニ大使

PM 2:00 ~ : ゲストご来場

PM 3:00 ~ : 受付開始

- ドメニコ・ジョルジ駐日イタリア共和国大使閣下
- ウンベルト・ヴァッターニ大使閣下
- パオロ・カッツァニーガ氏

PM 3:30: お茶会(お菓子、イタリアンワインなど)

PM 4:15: 井崎哲也氏によるパントマイム

PM 4:30: 特別ゲスト黒柳哲子氏

PM 5:30: 記者会見

Cazzaniga Historical Collection

カッツァニーガのスペシャル・セレクト・ジュエリー（1950年代から1960年代）が、ドメニコ・ジョルジ在日イタリア大使公邸にて公開されます。

イタリアン・ジュエリーの礎石、***Cazzaniga by Cazzaniga*** スタイル珠玉のコレクションをお楽しみください。

カッツァニーガの作品は様々な時代を経てきました。1920年から1940年台のアール・デコ、1940年以降から今に至るファインジュエリー。そして1950年代半ば、カッツァニーガの独特なスタイルである***Cazzaniga by Cazzaniga***が誕生しました。

Cazzaniga by Cazzaniga

1950年代半ばから今日まで

1950年半ば、アンジェロ・ジョルジョ・カッツァニーガは、ジュエリー工房で積んできた経験、装飾アートへの深い造詣を糧として、大胆な想像力を駆使した全く新しいジュエリーの製作に取り組み始めました。

こうして生まれたのが「Cazzaniga by Cazzaniga」です。何世紀にも渡る多彩なジュエリーが、「マエストロ」アンジェロ・ジョルジョ・カッツァニーガの熱意のこもった想像力のおかげで、画期的なスタイルに姿を変えました。イエロー、レッド、ホワイト、ローズ、グリーン、そして純金と、異なるカラーのゴールドに、パラジウムや多種類の宝石が組み合わせられています。様々なシェープの素晴らしいオーストリア産エナメルは、ローマの工房でギョシェに施されます。ネックレス、ブローチ、そしてリングには、イダー・オーバーシュタインのカーヴィング宝石が使われています。

同時期、アンジェロ・ジョルジョ・カッツァニーガは中国、タイ、日本そしてロシアと、極東域を旅しました。又、ロンドン、ジュネーブ、ニューヨークのオークションでは陶磁器や翡翠、貴重なオブジェ、洗練されたシノワズリ、骨董品などを購入しました。枝状や

加工された、ホワイト、ローズ、ポードンジュ、ロプスター・ピンクなどの目を見張るような美しい珊瑚は、日本の四国高知県の町で選び、購入されたものです。一方、真珠は鳥羽湾で入手されます。

「マエストロ」アンジェロ・ジョルジョ・カッツァニーガは美に対してとてもハングリーでした。世界中で見出した美しいものが、ローマのカッツァニーガ工房にあふれかえり、「マエストロ」の手による素晴らしいデザインで芸術作品に姿を変えたのです。

東洋旅行中、アンジェロ・ジョルジョ・カッツァニーガはジュエリーの素材購入に専念するのみならず、現地の文化にも大変な興味を示しました。訪問先の人々の習慣やライフスタイルを研究し、多くの印刷物や絵画、家具、骨董品を手に入れます。これら全てが、後のカッツァニーガ・スタイルを支えているのです。洗練された多様なデザイン。マエストロの並外れた直感により、東洋と西洋の融合美がローマで誕生しました。カラーとシェープを駆使したスタイルは、炸裂するような想像力の賜物です。

ジョルジョ・カッツァニーガは、自然、植物、樹木に親しんでいました。植物学に博識で、その美を愛しました。自然は偉大な芸術家にとって、理想的なモデル。しかし「自然を見つめ、そのままの姿を模写するだけでは十分とはいえない。美しい魂の目のみが美しいものに注がれる」と言い習わしていました。ジュエリー製作だけでなく、銀製品や大理石の噴水、石像などにも彼のインスピレーションがふんだんに表現されています。

純金と白金に宝石を施した花模様のモチーフで縁取りされた 24 金メッキ銀の土台に組み合わされた珊瑚像は、その時代にデザインされたものです。同じように、ダチョウ、カンガルー、キウイをテーマにしたシリーズには、24 金メッキ銀を土台として、ルチルクオーツ、グリーンアヴェンチュリン、ラピスラズリ、孔雀石、全色のメノウが使用されています。

カッツァニーガの作品は高い技術基準、高度の職人芸を誇ります。Cazzaniga by Cazzaniga ラインは、古来ギリシャ・ローマ時代の金細工師の教えに従い、全て手彫りです。それは、トロイ発掘時にシュリーマンが発見した、プリアモス王の黄金の仮面を思わせるものです。

その後、「ローマのバロックマスク」が製作されました。1950 年代初期にカッツァニーガが世に送ったこの作品は、甘い生活の魅惑的なローマから絶賛され、世界中の俳優、女優がカッツァニーガのアトリエでは、ペンダントやブローチに加工されたマスクをこぞっ

て買い求めました。

カッツァニーガの作品は、その当時の意気揚々とした風潮を特徴付ける幸福感の絶頂を、ジュエリーで表現したのです。

マスクはカッツァニーガ・スタイルの偉大なる芸術作品となりました。この類稀な芸術を手に入れるために、世界中のコレクターがクリスティーズやサザビーズのオークション会場に殺到しています。

縁取りの仕上げや、フレームが付いていないカッツァニーガの作品はありません。又、オブジェの裏面もそれ自体が芸術となるべく、加工が施されています。ジョルジョとパオロが自らの目で精査することなく、作品がカッツァニーガのアトリエを離れることはないのです。

仕事への情熱、ディテールへの細心の注意、全く独特なデザイン、セレクトされる色に対する極度の敏感さがあってこそ、カッツァニーガ・ジュエリーは、世界中に名を馳せ、高く評価されるのです。

スタイル、センス、クオリティとも今日に至るまで、何一つ変わっていません。

伝統を引き継ぎ、カッツァニーガは独特のオブジェを生み続けます。どれ一つとして、他と同じものは作らない。これがモットーです。